

# 笑顔とゆとりのある職場づくり。 看護の質の向上を目指して

結婚後や出産後も、仕事に高い目標を持ちながら充実した生活を送ることができるといえる職場環境は、21世紀に生きる女性としては必須条件のひとつ。武田病院グループが推進する7対1看護の実現へ向けて、強力にバックアップする育児支援策や教育支援策をご紹介します。

## 温かみのある支援と 教育プログラム

武田病院グループが目指す良質でゆとりのある7対1看護。その実現へ向けて、ワーク・ライフ・バランスに重点を置いたさまざまな取り組みをしています。

## ●子育て支援／ 安心して仕事に専念



とくに女性が中心の看護職では、育児と仕事のバランスは課題のひとつ。そこで強力な支援策として登場したのが『院内保育室』です。

武田病院6F A病棟・出野幸子看護師長は中学生の長女を筆頭に3人の子どもをもつベテランママですが、全員が保育室で大きくなりました。出野看護師長は「何より信頼できますし、安心していただけます。病院へ一步入った途端、気持ちに100%看護師に切り替えて仕事に没頭できるのもそのおかげです。22年勤

務を続けていますが、それぞれの節目に迷いなく復帰を決められたのもこの保育室があったからです」と笑顔を見せます。

## ●看護職員の多様な 勤務形態／ 自分に合った勤務 のかたちを選択

結婚、出産はキャリアを積んだ看護職員にとって大きな人生の転機。武田病院グループでは、そのキャリアを無理なく生かせる多様な勤務形態を提案しています。

- ①夜勤時間の選択性  
▽専従制の選択
  - ②交代制の選択  
▽回数を選択  
▽出勤時間の選択性  
▽時差出勤等ができる
  - ③休暇取得への支援  
▽リフレッシュのための（一定の）連続休暇が取得しやすい体制
- それぞれ個々のライフスタイルに応じて選べるよう、選択肢にも幅があるのが特長です。

## ●キャリアに応じた 教育制度／ 目標へ向かって後押し

一人一人が自らの看護能力を高め、病院全体の看護の質の向上に貢献できるよう



医仁会武田総合病院  
看護部3L病棟  
中垣恵以子さん

ページに合わせた教育プログラムが組まれています。例えば入社3年目の中垣恵以子さん（医仁会武田総合病院看護部）は、今春から新人指導にあたるプリセプターです。これまで先輩ナースから見守られる立場だった中垣さんは、「一緒に学ぼうねというスタンスです」とちよっぴり晴れがましそう。

さらにキャリアを積むと、▽ゼネラリストナース ▽各分野での専門性を深めるエキスパートナース ▽熟練した看護技術を磨くスペシャリストナース—など、多様な選択肢とそれに向けた研修プログラムが用意されています。今期スペシャリストナースとして「皮膚・排泄ケア領域認定看護師」の審査を受けた医仁会武田総合病院看護師・中本深雪さんと、昨年審査に合格し同院「感染管理認定看護師」となった加藤恵子さんは、口を揃えて「6ヵ月の院外研修で、看護の深みを学びました」と語ってくれました。充実した笑顔がとても印象的なお二人でした。